

# 竹田市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」

平成30年3月1日

竹田市農業委員会

## 第1 基本的な考え方

農業委員会等に関する法律(昭和26年法律第88号)の改正法が平成28年4月1日に施行され、農業委員会においては「農地等の利用の最適化の推進」が最も重要な必須業務として明確に位置づけられ、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進に積極的に取り組むことを求められている。

竹田市は、地域によって農地の利用状況や営農形態が異なっているため、地域の実態に応じた取り組みを推進するにあたり、それに向けた対策の強化を図ることが必要である。

稲作を取り巻く環境は、農業者の高齢化、担い手不足、米価の下落など年々厳しさを増している。竹田市農業委員会では効率的な農業経営を推進するため、農地中間管理事業や農業経営基盤強化促進法による利用権の設定など農地の集積・集約に取り組む。

また、中山間地域では、狭隘な農地が多く畦畔管理・水利の問題や鳥獣被害が遊休農地の増大の要因となっている。そのため、集落営農による貸借や農作業受託などの取り組みも推進していく必要がある。

以上のことから、地域の強みを活かしながら、活力ある農業・農村を築くため、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、担当区域ごとの活動を通じて「農地等の利用の最適化」が一体的に進んでいくよう、竹田市農業委員会の指針として、具体的な目標と推進方法を以下のとおり定める。

## 第2 具体的な目標と推進方法

### 1. 担い手への農地利用の集積・集約化について

#### (1) 担い手への農地利用集積目標

	管内の農地面積(A)	集積面積(B)	集積率(B/A)
現 状 (平成29年3月)	6,770 ha	2,444 ha	36.10 %
3年後の目標 (平成32年3月)	6,710 ha	2,744 ha	40.89 %
目 標 (平成35年3月)	6,650 ha	3,044 ha	45.77 %

(2) 担い手への農地利用の集積・集約化に向けた具体的な推進方法

① 農地中間管理機構等との連携について

(ア) 農地が集団化、連担化した条件で担い手に集約するように支援していく。

(イ) 出し手、受け手となる農業者の意向を確認し、農地中間管理事業の積極的な推進を図る。

② 農地の利用集積の推進について

地域の農地利用の状況を踏まえ、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定による農地の貸借を促進し、担い手への農地利用集積を図る。

③ 集落営農の推進について

(ア) 中山間地域等の小規模の農家が多い地域については、集落営農の組織化・法人化などを積極的に推進するなど、地域に合う取り組みを推進する。

(イ) 畦畔の管理や水利の確保など大変な地域は、地域の実情に即し農作業受託など多様な集積を図る。

2. 遊休農地の発生防止・解消について

(1) 遊休農地の解消目標

	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	遊休農地の割合(B/A)
現 状 (平成29年3月)	6, 770 ha	50 ha	0. 74 %
3年後の目標 (平成32年3月)	6, 710 ha	40 ha	0. 60 %
目 標 (平成35年3月)	6, 650 ha	30 ha	0. 45 %

(2) 遊休農地の発生防止・解消の具体的な推進方法

① 農地の利用状況調査と利用意向調査の実施について

農業委員と農地利用最適化推進委員が中心となり8月から10月の期間中に、管内全ての農地をパトロールして利用状況調査を実施する。

② 農地中間管理機構との連携について

利用状況調査の結果に基づき遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施する。その結果を受け、農家の意向を踏まえた農地中間管理機構への貸付け手続きを行う。

③ 非農地判断について

利用状況調査と同時に実施する「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」によって、B分類(再生利用困難)に区分された荒廃農地については、現況に応じて速やかに「非農地判断」を行い、守るべき農地を明確化する。

### 3. 新規参入の促進について

#### (1) 新規参入の促進目標

	新規参入者数(個人) (新規参入者取得面積)	新規参入者数(法人) (新規参入者取得面積)
3年後の累積目標 (平成32年3月)	9 人 ( 5 ha)	3 法人 ( 6 ha)
5年後の累積目標 (平成35年3月)	15 人 ( 8 ha)	5 法人 ( 10 ha)

#### (2) 新規参入の促進に向けた具体的な推進方法

##### ① 新規就農者への支援

新規参入者の耕作する農地について、農地の出し手との調整を図ると共に、地域の受入条件の整備に努める。また、参入後の定着を図るため、継続的な支援に努める。